



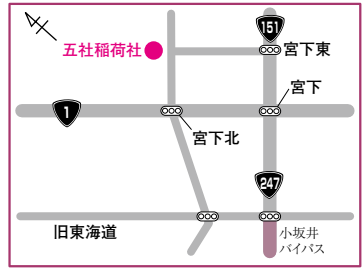
とよかわの

豊川市の観光資源を紹介します。 問合せ先 ● 市観光協会 89-2206

みつけた!



5人の神様と白キツネ 大鳥居が迎える五社稲荷社



小坂井町にある五社稲荷社は、祭神を^{うかのみたまのかみ}宇賀能御魂売神、^{うかのみのかみ}宇賀能売神、^{わくもすびのかみ}稚産霊神、^{おおみやのめのかみ}大宮能売神、^{やふねのかみ}屋船神とし、^{ごこくほうじょう}五穀豊穡、^{しろぎつね}商売繁盛、^{かんじょう}福德円満の神として崇高されています。御本殿には5神のおつかいとされる白狐像が鎮座しており、これは小坂井地区で古くから語り継がれている民話に登場する白キツネとも言われています。この五社稲荷社は、文政13(1830)年に京都伏見稲荷大社の分身として五柱の神様を勧請したことから、五社となりました。しかし、創立は延享4(1747)年の社殿改築記録があることから、それ以前にさかのぼることになります。

現在の五社稲荷社は、昭和56(1981)年、新社殿建設に伴う境内一帯の整備が行われ、一新しました。そして、平成17年に国道151号沿いに建設された高さ21.6mの大鳥居は、五社稲荷社に参拝客をお迎えする目印となっています。

毎月1日、15日の月次祭には、多くの参拝客があり、地元野菜の朝市と団子やたい焼きなどの露店が午前6時から正午まで出て、にぎわいをみせています。

